

2024年5月30日

<報道発表資料>

沖縄セルラー電話株式会社
セコム琉球株式会社
社会医療法人仁愛会 浦添総合病院

心臓病を患う方を対象としたサービス 「心拍見守りサービス by JOTO ホームドクター」提供開始

～心臓病を抱える方に寄り添うスマートウォッチを活用した見守り～

沖縄セルラー電話株式会社（本社：沖縄県那覇市、代表取締役社長：菅隆志、以下「沖縄セルラー」）は、セコム琉球株式会社（本社：沖縄県那覇市、代表取締役社長：井口郁、以下「セコム琉球」と連携し、社会医療法人仁愛会 浦添総合病院（所在地：沖縄県浦添市、理事長：銘苅晋、以下「浦添総合病院」）の監修のもと、スマートウォッチ（※）を活用した心臓病の手術や入院または心臓リハビリテーションを終えた方が安心して生活することを目的とした有料のスマートフォンアプリ「心拍見守りサービス by JOTO ホームドクター」の提供を開始します。2024年6月3日より、Android版を先行リリースします。



心臓病を抱える患者様の多くは、ご自身の異常を感じて受診をされる事が多く、後日の検査では症状を検知できないケースが少なくありません。また、再発予防・重症化の予防にはご自身での病気の自己管理(セルフケア)が重要とされていますが、退院後あるいは保険診療でのリハビリ治療後については、ご自身だけで自己管理を行っていくことに不安を感じている患者様が多くいます。

本サービスは対象のスマートウォッチとスマートフォンアプリ「心拍見守りサービス by JOTO ホームドクター」を連携することで、心拍数やその他の健康指標の推移を日常的に継続して確認することができ、心拍数の異常を検知した場合は、セコム琉球がユーザーご本人またはご家族に電話にて通知します。またアプリに記録されたデータは、本サービスと連携している医療機関に共有し診察の際に医師に確認頂くことができます。

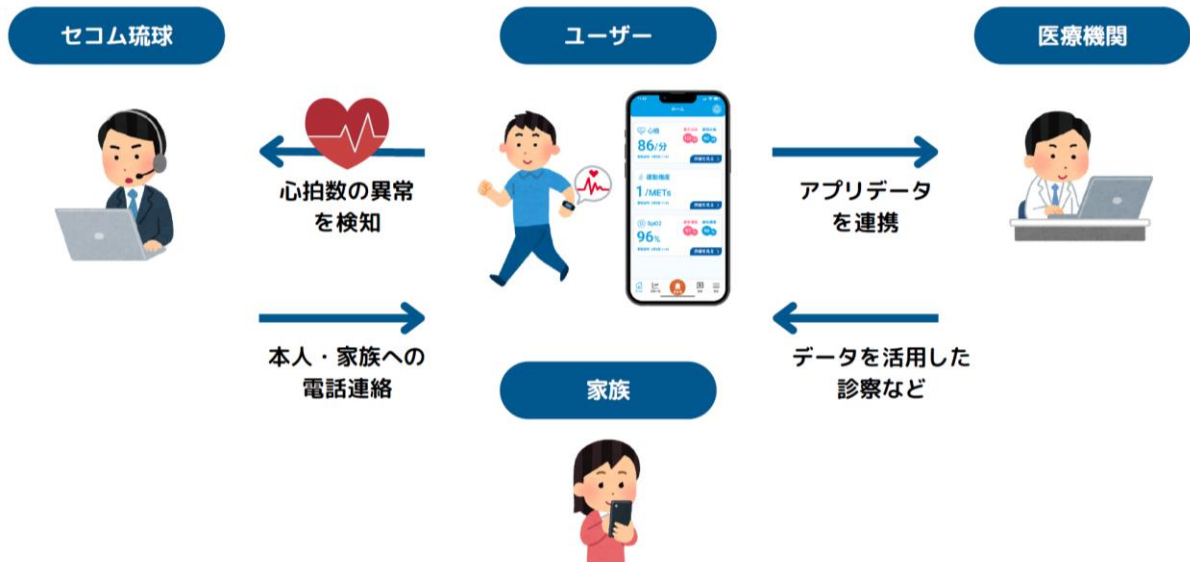
私たちは医療 DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進し、安心・安全で心暖まるやさしい生活環境を提供できるよう取組んで参ります。

※2024年5月30日時点のスマートウォッチ対象機種は Google 社提供の Fitbit（inspire3・Charge 4、5、6・Sense2）、Pixel Watch 2

■ サービス概要

【本サービスの仕組みイメージ】

本サービスアプリとスマートウォッチを連携し、スマートウォッチで取得できる心拍数などのデータをアプリ上に記録します。心拍数の異常を検知した際には、セコム琉球へ通知が行われ、ご本人またはご家族あてに電話連絡を行います。また、本サービスと連携する医療機関にアプリ上に記録されたデータを共有することができます。



■ サービス提供機能・プラン・価格

セコム見守りなし	セコム見守りあり	セコム見守り+病院連携
電話連絡までは不要という方はこちらをお選びいただけます	心拍数の異常を検知した際にセコム琉球から電話連絡を受けることができます	通院中の病院に自分のアプリのデータを共有できます
誰でもご利用可能	誰でもご利用可能	病院紹介限定プラン
¥980 /月	¥1,980 /月	¥3,980 /月
バイタル管理機能 <input checked="" type="checkbox"/> 心拍数/運動強度/SpO2の閲覧・記録	バイタル管理機能 <input checked="" type="checkbox"/> 心拍数/運動強度/SpO2の閲覧・記録	バイタル管理機能 <input checked="" type="checkbox"/> 心拍数/運動強度/SpO2の閲覧・記録
見守り機能 <input checked="" type="checkbox"/> 家族へのメール通知 <input checked="" type="checkbox"/> セコム琉球からの電話連絡	見守り機能 <input checked="" type="checkbox"/> 家族へのメール通知 <input checked="" type="checkbox"/> セコム琉球からの電話連絡	見守り機能 <input checked="" type="checkbox"/> 家族へのメール通知 <input checked="" type="checkbox"/> セコム琉球からの電話連絡
自己管理サポート機能 <input checked="" type="checkbox"/> 運動動画の閲覧・実施記録 <input checked="" type="checkbox"/> 違和感記録	自己管理サポート機能 <input checked="" type="checkbox"/> 運動動画の閲覧・実施記録 <input checked="" type="checkbox"/> 違和感記録	自己管理サポート機能 <input checked="" type="checkbox"/> 運動動画の閲覧・実施記録 <input checked="" type="checkbox"/> 違和感記録
病院連携機能 <input checked="" type="checkbox"/> 病院へアプリデータを連携	病院連携機能 <input checked="" type="checkbox"/> 病院へアプリデータを連携	病院連携機能 <input checked="" type="checkbox"/> 病院へアプリデータを連携

※スマートウォッチの金額は含まれていません。別途ご購入が必要です。

■監修医 社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 循環器内科部長 上原裕規医師のコメント

「心不全」ってご存知ですか？詳しくはご存知ない方が多いのではないのでしょうか？わかりやすく表現すると、「心不全とは、心臓が悪いために息切れやむくみが起こり、だんだん悪くなり、生命を縮める病気」です。心臓病による死亡は、癌に次ぎ2番目に多く、心不全による死亡は心臓病の内訳の中で、最も多くなっています。ちなみに、他の病気との死亡率を比較すると、驚くことに、大腸癌と同程度であり、決して予後が良い病気ではないのです。

心不全患者の1年死亡率は7.3%で1年以内の再入院率は35%とかなり高く、再入院を繰り返すたびに、重症化していくこと、入院が長期間に及ぶため、病床を逼迫させることから、改善すべき喫緊の問題となっています。心不全患者数は、年に1万人ずつ増加しており、2020年には120万人に達していると予測されていて、いまや心不全パンデミック（広範囲におよぶ流行病）の時代に突入していると言えます。

心不全の原因としては、心筋梗塞や心筋症、弁膜症、不整脈などがあり、それぞれの疾患に対する侵襲的治療も行いますが、薬物治療の進歩により、予後が改善されつつありますが、患者さん自身が病気の状態を把握することで重症化予防に繋がる「セルフケア」も注目されており、その取り組みの一環として、早期発見のための心不全手帳の配布や、最近では、自宅で血圧や酸素モニターを測定するだけで、自動的にネットワーク経由で病院へデータが即時に転送されるシステムも開発されています。

本サービスは、脈拍などの生体情報をリアルタイムに把握することができるスマートウォッチを活用することで、治療介入がより早く行えるメリットがあると思われます。近い将来、心不全はICTを駆使しながら、地域社会全体で診ていく時代になるかもしれません。

■本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

社会医療法人仁愛会 浦添総合病院

広報担当：病院事務部総務課

TEL：098-878-0231

沖縄セルラー電話株式会社

広報担当：比嘉

TEL：098-953-3153

E-mail：ma-higa@au-mobile.com

セコム琉球株式会社

広報担当：管理部

TEL：098-862-2221

E-mail:BO9050-9050710120@secom.co.jp